

回復支援高校や大学の回復コミュニティが効果的かどうかを知るためのエビデンスは不十分である



RHSが学業や薬物使用の結果を改善する可能性があるというエビデンスは、バイアスの重大なリスクがある単一の研究から得られた知見に基づいている。

このレビューの目的は何か？

このキャンベルの系統的レビューでは、回復支援高校が学生の行動や学業の成果に及ぼす効果を、回復プログラムのない学校の効果と比較して検討している。このレビューでは、交絡因子によるバイアスの潜在的な重大なリスクがあった1件の準実験的研究(総参加者数194人)からのエビデンスを要約している。

回復支援学校(RHSs)の効果を示すエビデンスは非常に限られている。大学の回復コミュニティ(CRCs)の有効性に関する厳密なエビデンスは不在である。

このレビューの内容は？

ある研究の結果によると、RHSs(recovery high schools)は高校生の学校欠席、マリファナ使用、その他の薬物使用を減少させ、薬物からの断薬を増加させる可能性があるが、RHSsは他の高校と比較して、成績の改善、不登校の減少、アルコール摂取の減少において、良くもなければ悪くもないかもしれない。CRCsが大学生の学業の成功を促進し、薬物使用を減らすのに有効かどうかは不明である。

このレビューの主な発見は何か？

青少年のかなりの割合が薬物使用障害から回復しており、多くの青少年が薬物使用治療を受けた後に再び使用する。青少年は起きている間の時間のほとんどを学校で過ごすため、学校は薬物使用障害から回復した青少年にとって重要な社会環境である。回復支援学校は、薬物使用障害から回復した青少年を支援するのに役立つ可能性のある教育プログラムとして確認されている。

本レビューでは、2種類の回復支援学校に焦点を当てた。中等学校の卒業証書を授与し、標準的な教育カリキュラムに加えてさまざまな治療サービスを提供する学校であるRHSsと、大学のキャンパスで治療および回復支援サービスを提供するCRCsである。

このレビューでは、回復支援学校(RHSsまたはCRCs)が、回復支援学校に在籍していない同様の学生と比較して、学生の学業の成功と薬物使用の転帰に影響を与えているかどうかを調査した。



このエビデンスはどれくらい最新のものか？

レビュー執筆者は2018年9月までの研究を調査している。このレビューは2018年10月に発表された。

キャンベル共同計画とは何か？

キャンベル共同計画とは、系統的レビューを公表する、国際的、任意的、非営利的な研究ネットワークである。本組織は、社会科学や行動科学の領域における取り組みのエビデンスを要約し、その質を評価している。本組織の目的は、人々のより良い選択とより良い政策決定を支援することである。

この要約について

本要約は、Campbell Systematic Review 2018:9 “Recovery schools for improving behavioral and academic outcomes among students in recovery from substance use disorders: a systematic review”の著者であるEmily A. Hennessyが作成したものである。Tanya Kristiansen (Campbell Collaboration)がこの要約の再デザインおよび編集をした。

この要約の作成のためのアメリカ研究機関からの財政支援に感謝の意を表す。

どのような研究が含まれているのか？

回復支援学校に関する研究では、準実験的なプリテスト・ポストテストデザインを用いて、以下の結果について報告した：成績評価の平均点(GPA)、不登校、欠席、アルコール摂取、マリファナ使用、その他の薬物使用、および断酒・断薬。この研究では、アメリカの高校生を対象としている。CRCsに関する適格な研究は不在であった。

回復支援学校の厳密な評価が必要

このレビューの知見は何を意味するのか？

このレビューの結果は、回復支援学校が生徒の健康に及ぼす効果についてのエビデンスが不十分であることを示している。回復支援学校が学業成績と薬物使用の結果を改善する可能性があるとの示唆はあるが、これは単一の研究から得られた知見に基づくものである。CRCsの効果に関する利用可能なエビデンスはない。

RHSsとCRCsに関する利用可能なエビデンスが不足していること、およびレビューに含まれている1件のRHS研究におけるバイアスの重大なリスクを考慮すると、現時点では強力な結論を導き出すことはできない。このレビューから得られたエビデンスは、回復支援学校の効果を広く実施する前に、さらに厳密な評価を行う必要があることを示唆している。

